

実務経験のある教員等による授業科目(全学共通科目)

区分	科目名	担当教員	単位数	実務経験を踏まえた授業の内容	学科
全学共通科目	経済学	後藤 厚子	2	青森県産品の販売・PRに関する実務経験のある教員が、地域社会の持続可能な発展に関わる経済活動の諸事例を踏まえて解説・指導する科目である。	
	地域学	後藤 厚子	2	青森県産品の販売・PRに関する実務経験のある教員が、地域社会の持続可能性に関わる実践的事例を踏まえて解説・指導する科目である。	
	体育学	大室 康平	1	体育協会の職員として、中高生に対するスポーツ科学に関する知識、技術等の指導経験を活かし、身体トレーニングや技術指導を行う。	
	スポーツ健康学	大室 康平	1	体育協会の職員として、中高生に対するスポーツ科学に関する知識、技術等の指導経験を活かし、身体トレーニングや技術指導を行う。	
	主題別ゼミナールⅠ	大室 康平	2	体育協会の職員として、スポーツ動作の分析等の実務経験から得たスポーツ科学に関する知識や、測定手法等を講義内で説明し、実践する。	
	主題別ゼミナールⅡ	齋藤 晴彦	2	行政書士としての実務経験をもとに、実際の行政手続の具体例を事例とした解説及び演習(講義型)を行う。	
	キャリアデザインⅠ	浅川 拓克	1	企業の採用担当者等、外部講師による講演などにより、自己理解・他者理解を深め自分の将来を計画する。また、大学の学びと社会とのつながりを理解する。	
	キャリアデザインⅡ	杉本 振一郎	1	企業の採用担当者等、外部講師による講演などにより、専門教育を学ぶ目的を理解するとともに職業観を育む力を身に付け、将来の進路決定に向けて就職意識を高める。	
	キャリアデザインⅢ	藤岡 与周	2	企業の採用担当者等、外部講師による講演などにより、実践を通して大学での学びが実社会でどのように役立つかを理解し、卒業後の進路を具体化する。	
	教職総論	根城 隆幸	2	高等学校の教諭として青森県内の高等学校や県教育委員会に勤務。実務経験をもとに教職について指導する。	
	教育課程論	根城 隆幸	2	公立学校の教諭として青森県内の高等学校や県教育委員会に勤務した経験を活かし、学習指導、生徒指導、進路指導及び健康・安全等について、実例を交えて解説する。	
	特別活動	高橋 和雄	2	学校現場経験に基づき、特別活動の運営及び生徒への指導の在り方等について、学習指導要領に基づき実地体験を踏まえながら講義を行うとともに、実践的な指導力の基礎作りとなるよう、実習や議論、発表等も盛り込んだ授業を行う。	
	道德教育	石毛 清八	2	中学校教諭・校長としての経験を踏まえ、学習指導要領にある教育の目標や方法、及びその歴史や意義、道德教育における基礎的な知識と技能、教育の手法、評価法について理解する。また、具体的な授業計画を立て、その学習指導案に基づいて模擬授業を行う。	
	総合的な学習の時間の指導法	寺下 之雄	2	学校現場経験に基づき、「総合的な学習の時間」設立の意義と背景、授業計画の基本的な考え方や具体例を挙げて、総合的な学習の展開に必要な資質を身に付けるための授業を行う。	
	特別支援教育総論	千葉 隆史	1	県立特別支援学校及び県教育委員会での特別支援教育に関する研究・実務経験から、具体的な事例を交えて解説する。	

実務経験のある教員等による授業科目(学部共通科目)

区分	科目名	担当教員	単位数	実務経験を踏まえた授業の内容	学科
学部共通科目	スポーツ特別演習	大室 康平	1	体育協会の職員として、中高生に対するスポーツ科学に関する知識、技術等の指導経験を活かし、身体トレーニングや技術指導を行う。	
	放射線の利用	佐藤 学	2	エックス線作業主任者としての放射線取扱管理等の実務経験を踏まえ、放射線の取扱や利用について解説。	
	海洋学の基礎と未来	堀田 平、渡邊 修一	2	国立研究開発法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)が実施している技術開発、海洋学・海洋工学等について実務経験を踏まえ講義する。	
	技術科指導法Ⅰ	和田 諭	4	学校現場経験に基づき、技術科教育の歴史的変遷、技術分野の目標、教育内容、授業形態と指導法、年間指導計画、学習指導案、評価など技術科の教育・指導法の理解を深める。	
	技術科指導法Ⅱ	和田 諭	2	学校現場経験に基づき、最近の教育状況や学習指導案の書き方、技術科教師としての心構えなどを学び、技術科教員としての資質を養う。また、技術教育にかかわる具体的な変化に対応した技法を紹介する。	
	技術科指導法Ⅲ	和田 諭	2	学校現場経験に基づき、情報活用能力育成に関して、指導案の修正や教材を工夫するなどにより、効率的に教授するための指導法を確立する。受講生自身の情報活用能力を向上させることも目指して授業を進める。	
	工業科指導法	高橋 和雄	4	学校現場経験に基づき、工業教育の果たす役割およびその歴史、カリキュラム、学習指導、評価について理解し、指導法を学ぶ。	

実務経験のある教員等による授業科目(学科専門科目)

区分	科目名	担当教員	単位数	実務経験を踏まえた授業の内容	学科
学科専門科目	エンジン解剖実習	工藤 祐嗣、浅川 拓克	1	企業での自動車整備士経験のある教員が、1学年の必修科目であるエンジン解剖実習を指導する。また、エンジンを通し機械工学の基礎やチームワーク力を学び、実際に分解をしたエンジンを始動することで、達成感等を経験する科目である。	機械工学科
	電気電子工学通論	石山 俊彦	2	民間企業の電気通信研究所において、研究員として電子回路、半導体デバイスの研究開発に関する実務に携わった教員が、電気回路、電子回路の基礎的概念を平易に指導する科目である。	機械工学科
	自動車工学	浅川 拓克、川島 純一	2	自動車整備士養成施設での指導経験を踏まえ、自動車の歴史、自動車の各部要素、ガソリン自動車、ディーゼル自動車等、自動車工学の講義を指導する科目である。	機械工学科 (自動車工学コース)
	機械工学実験Ⅰ	工藤 祐嗣、大黒 正敏、 太田 勝、浅川 拓克、 杉本 振一郎、秋山 航	1	自動車工学コース生に関しては、企業における自動車整備士経験のある教員が、自動車整備の基礎となる測定機器等の使用方法を中心に実験を指導する科目である。	機械工学科 (自動車工学コース)
	機械工学実験Ⅱ	工藤 祐嗣、野田 英彦、 太田 勝、浅川 拓克、 杉本 振一郎、秋山 航	1	自動車工学コース生に関しては、企業における自動車整備士経験のある教員が、自動車シャシの基礎構造等を中心に実験を指導する。	機械工学科 (自動車工学コース)
	自動車エンジン	浅川 拓克	2	自動車整備士養成施設での指導経験を踏まえ、国土交通省指定教育内容に基づき、自動車整備士登録試験合格を目的に、自動車のエンジン・環境性能教育となる自動車構造Ⅰの講義を指導する科目である。	機械工学科 (自動車工学コース)
	自動車構造Ⅰ	浅川 拓克	2	自動車整備士養成施設での指導経験を踏まえ、国土交通省指定教育内容に基づき、自動車整備士登録試験合格を目的に、自動車のエンジン・環境性能教育となる自動車構造Ⅰの講義を指導する科目である。	機械工学科 (自動車工学コース)
	カーエレクトロニクス	浅川 拓克	2	岩手県での自動車整備士養成施設の高校教員としての指導経験を踏まえ、国土交通省指定教育内容に基づき、自動車整備士登録試験合格を目的に、自動車の電子制御装置・電装品の教育となるカーエレクトロニクスの講義を指導する科目である。	機械工学科 (自動車工学コース)
	自動車整備実習	浅川 拓克、小又 誠一、 秋山 航	6	企業における自動車整備士経験を踏まえ、国土交通省指定教育内容に基づき、最新の自動車の整備技術に対応できる人材の育成教育である、自動車整備実習を指導する科目である。	機械工学科 (自動車工学コース)
	自動車構造Ⅱ	浅川 拓克	2	岩手県での自動車整備士養成施設の高校教員としての指導経験を踏まえ、国土交通省指定教育内容に基づき、自動車整備士登録試験合格を目的に、自動車のシャシ構造の教育である自動車構造Ⅱの講義を指導する科目である。	機械工学科 (自動車工学コース)
	基礎自動車工学	浅川 拓克	2	岩手県での自動車整備士養成施設の高校教員としての指導経験を踏まえ、国土交通省指定教育内容に基づき、自動車整備士登録試験合格を目的に、自動車整備士導入教育である基礎自動車工学の講義を指導する科目である。	機械工学科 (自動車工学コース)
	電子回路Ⅰ	柴田 幸司	2	10年間の企業での電気電子・情報通信・電磁波応用機器の設計開発および量産化の実務経験を踏まえた信号増幅回路などの電子回路の設計に関する授業を実施する。	電気電子工学科
	情報通信工学Ⅰ	柴田 幸司	2	10年間の企業での電気電子・情報通信・電磁波応用機器の設計開発での実務経験を踏まえた情報通信システムおよび構成部品の具体的な設計法に関する授業を実施する。	電気電子工学科
	情報通信工学Ⅱ	柴田 幸司	2	10年間の企業での電気電子・情報通信・電磁波応用機器の設計開発および量産化の実務経験を踏まえた情報通信システムおよび構成部品の具体的な設計法に関する授業を実施する。	電気電子工学科
	通信ネットワーク工学	柴田 幸司	2	10年間の企業での電気電子・情報通信・電磁波応用機器の設計開発および量産化の実務経験を踏まえたTCP/IPプロトコルに基づいた通信システムの仕組みや実現法についての授業を実施する。	電気電子工学科
	電磁波工学	柴田 幸司	2	10年間の企業での電気電子・情報通信・電磁波応用機器の設計開発での実務経験を踏まえた回線設計も含む電波を用いた情報通信システムおよび構成部品の具体的な設計法に関する授業を実施する。	電気電子工学科
	電気電子材料工学	石山 俊彦	2	民間企業の電気通信研究所において、研究員として半導体デバイス材料の研究開発に関する実務に携わった教員が、電気回路、電子回路に用いられる材料の基礎的概念を平易に指導する科目である。	電気電子工学科
	電気機器工学	石山 俊彦	2	民間企業の電気通信研究所において、研究員として電力変換技術の研究開発に関する実務に携わった教員が、変圧器、電動機、発電機の基礎的概念を平易に指導する科目である。	電気電子工学科
	プラズマ工学	石山 俊彦	2	民間企業の電気通信研究所において、研究員としてプラズマ技術を利用した製造技術に関する実務に携わった教員が、プラズマの基礎的概念を平易に指導する科目である。	電気電子工学科
	電気利用工学	石山 俊彦	2	民間企業の電気通信研究所において、研究員として通信用電力技術の研究開発に関する実務に携わった教員が、照明、熱利用、電気化学、エネルギー環境の各分野についての基礎的概念を平易に指導する科目である。	電気電子工学科

区分	科目名	担当教員	単位数	実務経験を踏まえた授業の内容	学科
学科専門科目	電力発生工学	石山 俊彦	2	民間企業の電気通信研究所において、研究員として通信用電力技術の研究開発に関する実務に携わった教員が、発電技術、送配電技術についての基礎的概念を平易に指導する科目である。	電気電子工学科
	電子情報システム実験	神原 利彦、関 秀廣、柴田 幸司、花田 一磨	2	電気電子機器等の設計開発での実務経験を踏まえた情報通信システムの実習を行う。	電気電子工学科
	情報工学概論	小坂谷 壽一	2	SE並びに技術士として実務で培ったハード/ソフト全般の知識を、経験した事例を交えて基本から応用迄を解説する。	システム情報工学科
	情報通信工学	山口 広行	2	通信キャリアにおける全国規模のIPネットワークの開発業務経験をふまえ、情報ネットワークの基礎である階層化アーキテクチャとTCP/IP、イーサネット等について、実務経験での話題も交えながら講義を行う。	システム情報工学科
	システム数理	武山 泰	2	技術吏員としての県職員の経験と、研究員としての国立研究所での経験を有する教員が実務経験に基づき、ネットワークの最短経路探索、アローダイアグラムによる工程計画や動的計画法による最適化などについて講義する。	システム情報工学科
	プログラミング言語	武山 泰	2	研究員としての国立研究所で大気汚染予測プログラムを作成した経験を有する教員が、実務でプログラムを開発した経験に基づき、プログラミングについての講義を行う。	システム情報工学科
	デジタル信号処理	三浦 雅展	2	民間企業との共同研究の経験から、実社会で活用されている事例を交えて解説する。	システム情報工学科
	コンテンツ制作入門	伊藤 智也	2	地域の団体や学校法人などで色再現やデザイン等、コンテンツ制作に従事した経験のある教員が、3Dおよび2Dの高度なコンテンツ制作技術の研究開発経験に基づき、実践的な実習において実務経験を交え指導する科目である。	システム情報工学科
	パターン情報処理	小池 敦	2	企業で人工知能・パターン情報処理分野の業務に関わった経験を活かし、実社会における学習内容の活用例や実データを扱う際に必要となる前処理等の技法を解説する。	システム情報工学科
	知識工学	島内 宏和	2	シンクタンクにおいて、データサイエンティストとして機械学習の応用に取り組んだ経験を有する教員が、実務経験に基づき知識工学の基礎と応用について講義する。	システム情報工学科
	産業情報論	小坂谷 壽一	2	知的財産権・著作権では、SE並びに技術士として実務で経験した事例を交えて基礎から応用までを解説する。	システム情報工学科
	マルチメディア工学	大志田 憲	2	企業などで情報通信などマルチメディアの分野の業務に関わった経験のある教員が、マルチメディアの中核をなすデジタル技術を、実務経験を交え実践的に指導する科目である。	システム情報工学科
	情報文化論	小坂谷 壽一	2	講義の際は、SE並びに技術士として実務で経験した事例を交えて解説する。	システム情報工学科
	情報工学基礎実験Ⅱ	小坂谷 壽一、武山 泰、島内 宏和	1	プログラミング及びシミュレーションに関する知識を、SE並びに技術士として実務で経験した事例を交えて解説する。	システム情報工学科
	設計・製図	嶋脇 秀隆、紺谷 陽広	2	システム・ソフトウェア開発会社にてCADによる設計業務を経験した教員が、3D-CADによる設計法について実務経験での話題も交えながら実習を通して実践的な講義を行う。	システム情報工学科
	有機化学	鶴田 猛彦	2	企業の研究所で行った天然物の合成の研究例などを講義の中に組み込んで解説する。	生命環境科学科
	電気電子工学概論	石山 俊彦	2	民間企業の電気通信研究所において、研究員として電子回路、半導体デバイスの研究開発に関する実務に携わった教員が、電気回路、電子回路の基礎的概念を平易に指導する科目である。	生命環境科学科
	化学工学	高橋 晋	2	生産工場でも実務経験を踏まえて、現場で実際に利用する際の考え方などを織り交ぜながら講義する。	生命環境科学科
	微生物学	本田 洋之	2	企業で微生物の研究および開発に携わった経験のある教員が、微生物の性質・分類や、食品の腐敗、発酵、環境と微生物の関わり等について解説する。	生命環境科学科
	微生物工学	星野 保	2	国立研究所での微生物酵素の開発およびその物質生産への応用研究に従事した経験を活かし、微生物の産業利用について解説する。	生命環境科学科
	食品分析学	本田 洋之	2	食品企業での勤務経験を持つ教員が、食品の研究開発および品質管理に用いられる各種分析法の原理と方法、および関連する法律について解説する。	生命環境科学科
	食品製造学	鶴田 猛彦	2	県立研究所、国立研究所および国の出先機関在勤中に行った酒類を含む発酵食品製造に関する内容を講義の中に盛り込みながら解説する。	生命環境科学科
	食品工学	星野 保	2	国立研究所での企業との共同研究に従事した経験を活かし、食品製造における化学工学的概念とその応用について解説する。	生命環境科学科
	生物有機化学	鶴田 猛彦	2	県立および国立研究所で行った微生物を用いた物質の変換反応について紹介し、通常の有機化学反応と生物が行う反応の相違点を解説する。	生命環境科学科
	食品化学	本田 洋之	2	食品企業での勤務経験を持つ教員が、食品に関連する法規、食品の表示や食品成分についての知識を、事例を交えて解説する。	生命環境科学科
	酵素工学	星野 保	2	国立研究所での微生物酵素の開発およびその物質生産への応用研究に従事した経験を活かし、酵素の産業利用について解説する。	生命環境科学科

区分	科目名	担当教員	単位数	実務経験を踏まえた授業の内容	学科
学科専門科目	食品衛生学	星野 保	2	国立研究所での微生物による生理生態の解析に従事した経験を活かし、食品衛生上重要な生物・化学的知識とその応用・関連する法令について解説する。	生命環境科学科
	臨海実習	田中 義幸	2	国立の研究機関で得た野外調査の経験を活かして、大自然の中で、変化に富んだ生態系を材料とした実習を行う。	生命環境科学科
	海洋土木Ⅱ	許 正憲、澤田 郁郎	2	国立研究開発法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)が実施している海洋掘削技術開発等について、実際の掘削機器・特殊技術などを紹介しながら授業を行う。	土木建築工学科
	建築概論	月永 洋一、滝田 貢、安部 信行、小藤 一樹、橋詰 豊、西尾 洸毅	2	建築設計や設計コンサルタントでの実務経験を持つ教員が、建築学および建築業務に関する内容を講義する。	土木建築工学科
	基礎製図	迫井 裕樹、橋詰 豊	2	企業での実務経験をもとに、製図用具の使い方、図面の種類、縮尺、線・文字・記号の表現方法について学習・訓練する。	土木建築工学科
	CAD基礎演習	橋詰 豊、西尾 洸毅	2	2D-CADによる設計手法についての講義及び課題の製図作業や設計図に表現すべき種類や内容についての講義及び課題の製図作業を行う。合わせて実務上での問題点・課題も教示する。	土木建築工学科
	測量実習	橋詰 豊、鈴木 拓也	1	レベル、トータルステーション、平板等の測量器材の取り扱い方法、水準測量、トラバース測量および細部測量について屋外実習を行う。実務上起こりうる問題・トラブル対処法についても教示する。	土木建築工学科
	都市計画	小藤 一樹	2	都市計画・都市デザインと建築基準法集団規定に関する知識を設計事務所経験した事例を交えて解説する。	土木建築工学科
	構造力学Ⅰ	高瀬 慎介	2	解析業務での経験した事例を踏まえて、基本的な構造物(はりなどの静定構造)計算方法、断面の応力計算について講義している。	土木建築工学科
	構造力学Ⅱ	高瀬 慎介	2	解析業務での経験した事例を踏まえて、はりのたわみ量の計算方法(仮想仕事の原理や弾性荷重法)や不静定構造物の計算方法について講義している。	土木建築工学科
	応用測量学及び実習	岡沼 有祐	2	測量設計会社での長年の実務経験を活かし、測量学に関する応用的・実践的な知識・技術を具体的な事例を交えて解説する。	土木建築工学科
	計画数理	武山 泰	2	技術吏員としての県職員の経験と、研究員としての国立研究所での経験を有する教員が実務経験に基づき、ネットワークの最短経路探索、アローダイアグラムによる工程計画や動的計画法による最適化などについて講義する。	土木建築工学科
	道路・交通工学	武山 泰	2	技術吏員として県職員の経験を有する教員が実務経験に基づいて、道路の設計、積算、事業の流れなどについて講義する。	土木建築工学科
	応用構造力学	高瀬 慎介	2	解析業務での経験した事例を踏まえて、トラス・ラーメン構造の解析方法、マトリックス構造解析による計算について講義している。	土木建築工学科
	地盤構造工学	金子 賢治、小藤 一樹、橋詰 豊	2	企業での経験をもちに実務設計時の事例の紹介を交えての解説・演習指導を行う。	土木建築工学科
	施工技術	石藤 千春	2	実際の現場での施工の基礎から応用まで、実際の例をあげながら実務に役立つように講義する。	土木建築工学科
	土木工学実験Ⅱ	高瀬 慎介、福士 憲一、竹内 貴弘、鈴木 拓也、加藤 雅也	2	大手ゼネコン技術研究所海洋Gや土木設計部に所属した経験をもちに、水工学分野について水理模型実験、データ整理、考察、レポート作成、および発表資料作成についての指導。	土木建築工学科
	橋工学設計・演習	高瀬 慎介	2	解析業務での経験した事例を踏まえて、橋梁の基礎的な設計方法について演習を交えて講義している。	土木建築工学科
	地盤工学設計・演習	金子 賢治、橋詰 豊	2	企業での経験をもちに実務設計時の事例を紹介を交えての解説・演習指導を行う。	土木建築工学科
	総合デザインⅡ	金子 賢治、竹内 貴弘、阿波 稔、鈴木 拓也、迫井 裕樹、小藤 一樹、高瀬 慎介、橋詰 豊、西尾 洸毅、加藤 雅也	2	企業での経験をもちに実務設計時の事例を紹介を交えての解説・演習指導を行う。	土木建築工学科
	火薬学	黒川 孝一	2	土木技術者として必要な火薬類の性質や発破に関する基礎的な知識について講義する。	土木建築工学科
	建築設計Ⅰ	西尾 洸毅、古戸 睦子、梶澤 卓馬	3	設計事務所での実務経験をもちに小規模な建築物の設計を通してスケール感覚、ゾーニング、動線計画、模型によるエスキスなど基本的な設計手法について設計演習を行う。	土木建築工学科
	建築設計Ⅱ	小藤 一樹、松橋 義明、亀田 進之助	3	建築設計に関する知識やノウハウを大手組織設計事務所で経験した事例を交えて解説・指導する。	土木建築工学科
	建築設計Ⅳ	月永 洋一、福士 譲	3	一級建築士事務所での実務経験による事例・知識を交えて建築設計に関する内容を指導する。	土木建築工学科
	住居計画	小藤 一樹、西尾 洸毅	2	居住系施設やインテリアに関する知識を大手組織設計事務所で経験した事例を交えて解説する。	土木建築工学科
	建築法規	小藤 一樹	2	建築法規に関する知識や使い方を大手組織設計事務所で経験した事例を交えて解説する。	土木建築工学科
	建築設計Ⅲ	滝田 貢、川口 實、豊川 悠	3	建築設計・監理などに関する知識を、実務で経験した事例を交えて解説する。	土木建築工学科
	建築史	中村 隼人	2	遺構・古建築等の調査に関する知識を実務で経験した事例を交えて講義する。	土木建築工学科
	インテリアデザイン	豊川 悠	2	建築設計事務所での勤務経験から、インテリアデザインに必要な知識の指導にあたる。	土木建築工学科

区分	科目名	担当教員	単位数	実務経験を踏まえた授業の内容	学科
学 科 専 門 科 目	電気電子工学概論	石山 俊彦	2	民間企業の電気通信研究所において、研究員として電子回路、半導体デバイスの研究開発に関する実務に携わった教員が、電気回路、電子回路の基礎的概念を平易に指導する科目である。	土木建築 工学科
	美術科指導法Ⅰ	石毛 清八	4	中学校教諭・校長としての経験を踏まえ、学習指導要領にある教育の目標や方法、及びその歴史や意義、美術教育における基礎的な知識と技能、教育の手法、評価法について理解する。また、具体的な授業計画を立て、その学習指導案に基づいて模擬授業を行う。	創生デザイン 学科
	美術科指導法Ⅱ	石毛 清八	2	中学校教諭・校長としての経験を踏まえ、指導計画の作成、学習指導、評価の工夫、教材の見直しや開発研究を実践し、多様な生徒の個性や能力に対応できる教師としての資質と指導力を身につけるための授業を行う。	創生デザイン 学科
	美術科指導法Ⅲ	石毛 清八	2	中学校教諭・校長としての経験を踏まえ、教育実習での実際の経験を基に理想的な教育手法、教師像について考える総合的な講義である。教材の見直しと新たな教材の開発を行うなど、生徒一人ひとりの感性や個性を伸ばし、意欲や充実感を高め表現力や鑑賞力を伸ばすための授業を行う。	創生デザイン 学科
	工芸科指導法	石毛 清八	4	中学校教諭・校長としての経験を踏まえ、芸術科(工芸)の教育について学習指導要領を理解し、各種素材が持つ教育的価値の検討、授業計画の立案、模擬授業等を行い、教育実践手法を理解するための授業を行う。	創生デザイン 学科
	デザイン思考	高橋 史朗、宮腰 直幸、 高屋 喜久子	2	授業担当者(高屋・宮腰)の実務経験から自己と社会とデザインの関係性を学びデザイン実践の考え方を体得する。	創生デザイン 学科
	知的財産論	富沢 知成	2	弁理士としての経験をもとに特許・意匠を初めとする産業財産権や著作権など知的財産(知財)に関する授業を担当。	創生デザイン 学科
	地域文化論	川守田 礼子、石毛 清八、 水沼 和夫、泉 彩葉、 滝尻 善英	2	石毛：八戸市中学校教諭(美術)・校長の経験を活かし、伝統工芸分野の講義を担当する。 滝尻：青森県高等学校教諭(社会)・御前神社権禰宣・はちのへ川柳社会長・青森県文化財保護協会副会長・八戸市文化財審議委員副委員長などの経験を活かし、青森県の歴史・文芸・文化分野に関する講義を担当する。 泉：泉紫峰日本舞踊研究所師範の経験を活かし、日本舞踊の実技指導を担当する。	創生デザイン 学科
	コンピュータ基礎演習	宮腰 直幸、宇野 あずさ	2	宇野：美術分野における作家活動に関する実務経験に基づき、グラフィックデザインで使用するアプリケーション(Illustrator、Photoshop)の基本的操作を指導する。 本授業では、文字と画像、素材のレイアウトや配色計画などデザインツールを駆使してビジュアルによる表現力を養うために、紙面デザイン作成など実践的課題を行い、デザインによるアイデアの実装と多様な生活の場面において、魅力的に提案する応用力を身につける。	創生デザイン 学科
	デザイン史	高坂 真	2	デザイナーとしての実務を活かしてデザインの歴史の変遷・意義に関わる授業を担当。	創生デザイン 学科
	絵画Ⅰ	大島 雅子、宇野 あずさ	2	画家として現在も活動を行なっている教員が、絵画の表現技法・実践に関わる内容を担当・指導する。(大島)	創生デザイン 学科
	絵画Ⅱ	大島 雅子、宇野 あずさ	2	画家として現在も活動を行なっている教員が、絵画の表現技法・実践に関わる内容を担当・指導する。	創生デザイン 学科
	図学	宮腰 直幸	2	建築設計事務所での勤務経験から、図面作成に必要な図学的知識や作図方法などの指導にあたる。	創生デザイン 学科
	タイポグラフィー論	高屋 喜久子	2	企業でのポスター・カタログ制作などの実務経験を持つ教員が、効果的な文字組やフォントの使い方について解説し、ロゴタイプや名刺制作の指導にあたる。	創生デザイン 学科
	ビジュアルデザイン論	高屋 喜久子	2	企業でのポスター・カタログ制作などの実務経験を持つ教員が、分かりやすく効果的に伝わる視覚表現について解説し、ポスター制作の指導にあたる。	創生デザイン 学科
	Webデザイン	東方 悠平、米田 佳介	2	web制作会社に勤務し、デザイナーとして実務に携わってきた経験を持つ教員が、その経験を活かしてweb制作のコンセプト策定、制作シミュレーション、コンテンツ制作等の授業にあたる。(米田)	創生デザイン 学科
	広告論	高橋 史朗、星 聡昭	2	広告制作会社の代表取締役である教員が、長期にわたる広告制作業務と代理店業務の経験を背景として、広告制作物の批評、広告戦略を講義するとともに、その知識を制作物に反映させる課題を通じ、広告デザインの方法論の定着を図る科目である。第2回～13回のうち、広告制作に関わるメソッド、制作スキルに関わる内容がこれにあたる。	創生デザイン 学科
	イラストレーションⅠ	安斉 将	2	イラストレーションに関する知識をイラストレーターとしての経験事例を交えて解説する。	創生デザイン 学科
	イラストレーションⅡ	安斉 将	2	イラストレーションに関する知識をイラストレーターとしての経験事例を交えて解説する。	創生デザイン 学科
	工芸学	東方 悠平、石毛 清八	2	中学校、高等学校の美術教育の現場での教員としての実践を踏まえ、工芸の歴史や社会的意義について講義と技術指導を行う。	創生デザイン 学科
	工芸実習	東方 悠平、川守田 礼子、 石毛 清八	2	八戸市中学校教諭・校長の経験を活かし、工芸の技術指導を行う。 私立高校で教員として「美術」科目を担当した経験を活かし、工芸の歴史や社会的意義について講義と技術指導を行う。	創生デザイン 学科

区分	科目名	担当教員	単位数	実務経験を踏まえた授業の内容	学科
学科専門科目	彫刻	石毛 清八	2	中学校教諭・校長としての経験を踏まえ、教育実習での実際の経験を基に理想的な教育手法、教師像について考える総合的な講義である。教材の見直しと新たな教材の開発を行うなど、生徒一人ひとりの感性や個性を伸ばし、意欲や充実感を高め表現力や鑑賞力を伸ばすための授業を行う。	創生デザイン学科
	美術史	皆川 俊平	2	非営利活動を行う任意団体の主宰による、展覧会キュレーション、アートマネージメント、広告デザインの実務および文化政策提言を経験した教員が、展覧会企画・運営の観点を交え、史学的側面に加えて実務的観点からも解説・指導する。	創生デザイン学科
	ビジュアルデザイン演習Ⅰ	皆川 俊平	2	前職の「地域おこし協力隊」での実践事例、実務経験を踏まえ、具体的な地域活動時に持っておくべき基礎知識、注意すべき態度などの指導を行うほか、コミュニティデザイン、アートマネージメントに関する実務経験から、実施を前提とした構想設計(活動設計)を指導する。	創生デザイン学科
	ビジュアルデザイン演習Ⅱ	後藤 厚子	2	青森県産品の販売・PRに関する実務経験を生かし、地域社会の持続可能性を追求するデザイン手法を実践的に学ぶための授業を運営する。	創生デザイン学科
	ビジュアルデザイン演習Ⅲ	高屋 喜久子、後藤 厚子	2	高屋：企業内デザイナーとして、ビジュアルデザイン・プロダクトデザインの実務経験を有し、デザイン会社経営者、デザインプロデューサーとして製品開発プロジェクトや展示会開催などに関わった。その経験を活かし、デザインアイデアの実装・実現化に関する技能と、運営手法について指導する。後藤：青森県産品の販売・PRに関する実務経験を生かし、地域社会の持続可能性を追求するデザイン手法を実践的に学ぶための授業を運営する。	創生デザイン学科
	ビジュアルデザイン演習Ⅳ	高屋 喜久子、川守田 礼子	2	高屋：企業内デザイナーとして、ビジュアルデザイン・プロダクトデザインの実務経験を有し、デザイン会社経営者、デザインプロデューサーとして製品開発プロジェクトや展示会開催などに関わった。その経験を活かし、デザインアイデアの実装・実現化に関する技能と、運営手法について指導する。	創生デザイン学科
	コミュニケーション&アート演習	皆川 俊平、宇野 あずさ	2	NPO法人にて地域でのアートマネジメント業務を経験。地域におけるアートを通じた文化活動、コミュニケーション活動のあり方や意義、運営について学ぶ。非営利活動を行う任意団体の主宰による、展覧会キュレーション、アートマネージメント、広告デザインの実務および文化政策提言を経験した教員が、制作者と鑑賞者の関係構築、コンセプト確立などの思考の基礎について指導する。	創生デザイン学科
	ビジュアルストーリーテリング論	川守田 礼子、関橋 英作	2	関橋：企業での実務経験をもち、コピーライティング・ブランディング・商品開発の実践に関わる授業を担当。企画演習、コピー、プレゼンなどの実施。	創生デザイン学科
	ブランドマーケティング	高橋 史朗、皆川 俊平	2	栃木県日光市での行政職(地域おこし協力隊/文化政策、コミュニティデザイン実務)の経験を有する教員が指導に当たる科目である。地域との関係構築手法、住民ヒアリングにおけるニーズ調査などの実地活動の基礎、およびアイデアの可視化に関わる技能習得を担当する。(皆川)	創生デザイン学科
	CADデザイン演習	宮腰 直幸、安部 信行	2	宮腰：建築設計事務所にて実務設計に携わった経験から、クライアントやユーザとのコミュニケーションを通じてのデザイン開発について指導を行う。	創生デザイン学科
	キュレイトイング論	皆川 俊平	2	非営利活動を行う任意団体の主宰による、展覧会キュレーション、アートマネージメント、広告デザインの実務および文化政策提言を経験した教員が、デザインアイデアの実装・実現化に関する概念と技能、ファンドレイジングなど運営手法について事例紹介を行い演習としてその実施を指導する。	創生デザイン学科
	インテリアデザインⅠ	豊川 悠	2	建築設計事務所での勤務経験から、インテリアデザインに必要な知識の指導にあたる。	創生デザイン学科
	インテリアデザインⅡ	豊川 悠	2	建築設計事務所での勤務経験から、インテリアデザインに必要な知識の指導にあたる。	創生デザイン学科
	プロトタイピング演習	宮腰 直幸	2	民間企業での実務経験を活かして、模型を製作するための技術や素材について学び、実際に制作を行う授業を担当する。	創生デザイン学科
	立体造形演習	東方 悠平	2	講師として高等学校の美術教育の現場で立体造形の授業を実践してきた経験を踏まえ、多様な素材や技法に基づいた立体造形のあり方について講義を行うと同時に作品を制作する授業を行う。	創生デザイン学科
	製品CAD演習	宮腰 直幸、安部 信行	2	宮腰：建築設計事務所にてCADを用いて設計を行ってきた経験を踏まえ、図面作成の際に使用するCADのコマンドや必要とされる知識について指導を行う。	創生デザイン学科
	住環境学	小藤 一樹、西尾 洸毅	2	居住系施設やインテリアに関する知識を??組織設計事務所経験した事例を交えて解説する。	創生デザイン学科
	リビングウェアデザイン演習Ⅱ	宮腰 直幸	2	建築設計事務所にて実務設計に携わった経験から、クライアントやユーザとのコミュニケーションを通じてのデザイン開発について指導を行う。	創生デザイン学科
	リビングウェアデザイン演習Ⅲ	宮腰 直幸	2	建築設計事務所にて実務設計に携わった経験から、クライアントやユーザとのコミュニケーションを通じてのデザイン開発について指導を行う。	創生デザイン学科